

# のみだより

今号の  
表紙

## スマートウォークで 健康な毎日を

先日、スマートウォークフェスティバルが開催されました。  
スマートウォークとは、競歩にヒントを得た歩き方。  
姿勢や骨盤を意識して歩くことで体幹や筋力の強化に効果があります。  
アドバイザーとして参加した出村美智子さん（写真一番左）は、  
参加者から「いい汗をかき笑いもあって楽しかった」と言われたことがうれしかったようで  
「これからもスマートウォークを盛り上げていきたい」と力強く語りました。

### 目次

◎ 定例会報告 .....	2
◎ 3 常任委員会の審査報告 .....	3
◎ 予算決算常任委員会審査報告 .....	4
◎ 討論・賛否一覧 .....	6
◎ 代表質問 .....	7
◎ 一般質問 .....	8
◎ 市連合壮年団との意見交換会 .....	14
◎ 議会目誌(1月～3月)・議会日程・編集後記 .....	16







## 平成29年3月定例会

今定例会は、3月6日(月)から3月28日(火)までの23日間の会期で開かれました。市長から提出された議案57件をすべて可決・承認・同意しました。

また、議会議案として「『子育て基本法』制定を求める意見書」を提出し、全会一致で可決。このほか、政務活動費の透明性をより高めるため「能美市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例」を提出し、全会一致で可決しました。

主な議案の内容は以下のとおりです。

### ●平成29年度能美市一般会計予算（P4～P6に関連記事）

## 一般会計予算は207億8,000万円

平成29年度一般会計当初予算は、編成時期が市長選挙と重なったことから、人件費や扶助費、公債費等の義務的経費と施設管理費等の経常経費を中心とする『骨格予算』として編成されました。一般会計、特別会計、企業会計の予算総額は、402億5,400万円であり、そのうち、一般会計の総額は、歳入歳出それぞれ207億8,000万円。前年度予算と比較して12.2%の減となりました。

新規事業や政策判断を要する政策経費は、6月補正予算での計上が予定されています。

### ●平成28年度能美市一般会計補正予算

## 歳入歳出予算の総額に7,400万円を追加補正

平成28年度一般会計補正予算は、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ7,400万円を追加し、予算総額が248億8,300万円となりました。

なお、一般会計補正予算の主な内容については、次のとおりです。

◎ふるさと寄附金推進事業 ..... 3,287千円  
ふるさと寄附金の増加に伴う寄附者への返礼品代や発送等にかかる業務委託料

◎博物館解体事業 ..... 69,296千円  
新博物館建設に伴う現博物館及び辰口学習会館の解体工事費

▶ 解体が予定されている博物館と学習会館。  
現在展示されている作品は、新博物館に  
引き継がれる予定です



### ●能美市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例

## 政務活動費の収支報告書や領収書等が閲覧可能に

政務活動に係る収支報告書や領収書等の閲覧を請求できる規定を定めました。これにより、政務活動費の使途に関する透明性がより高くなることが期待されます。

なお、平成28年度分以降の政務活動費から適用し、閲覧の開始は、平成29年7月1日からとなります。

## 能美市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

産業  
経済

水道事業の給水人口を49,950人とし、一日最大給水量を27,000m<sup>3</sup>とすること

### 給水人口と一日最大給水量が現行からみて少なくなっているがその根拠は何か

- 人口推計による予測値では、最も給水人口が多くなるのは平成32年度の49,935人である。また、一日最大給水量は、給水人口を基に生活用水量を算出し、業務・営業用水量や既存工業用水量、その他水量などを勘案して算出した。

## 能美市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

教育  
福祉

学校運営協議会委員の報酬を新たに定めること

### 学校運営協議会委員の具体的な仕事内容は何か。選出方法は

- 校長が作成する学校の運営方針案を承認し、実施した事業を評価する。選出方法は、PTAや教職員、地域住民などから、校長が推薦する。

## 委員会審査報告

市長から提出された議案や請願は、4つの常任委員会に付託し、より詳細な審査を行っています。主な審査内容は次のとおりです（予算決算の審査内容はP4～P5に掲載）。

委員会名	委員長	副委員長	委員
総務	米田 敏勝	山本 悟	杉田 隆一、居村 清二 北村 周士
産業経済	南山 修一	開道 昌信	近藤 啓子、嵐 昭夫 森 善克、田中大佐久
教育福祉	倉元 正順	近藤 博	東 正幸、田中策次郎 仙台 謙三
予算決算	居村 清二	嵐 昭夫	議長を除く全議員

## 能美市消防団活動拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

総務

3月末に完成の辰口分団活動拠点施設の名称や位置を定めること

### 4月1日から供用開始できるのか

- 現在の辰口分署に設置されている無線機器等の移設が必要。供用開始は、5月中旬になる。

## 能美市税条例等の一部を改正する条例

平成28年度分に限り適用されていた軽自動車税のグリーン化特例を1年間延長し、軽自動車税の税率を軽減すること等

### グリーン化特例の対象となる車種は何か

- 電気自動車やハイブリッド車などの環境にやさしい車両が対象となる。

## 長い間、お疲れ様でした。

3月16日、教育委員長の役職として最後となった南俊博氏、任期満了に伴い、退任した教育長の中嶋敏一氏、代表監査委員の木村龍雄氏が議場であいさつを述べました。

南 俊博  
(教育委員長)



2年間、いろんな知識をいただき本当に感謝している。

今まで教員として、行政とは非常に縁遠い世界を主に生きてきた。そういう中でいろんなことを知ることができたことは、これからの大きな財産になる。

知らないことがたくさんあったということにも気づかされた。こういう知見も加味して、引き続き、教員委員の一員として市の教育に貢献したい。

中嶋敏一  
(教育長)



あっという間の3年間だった。子供たちの安全・安心という重責を背負いながら、充実した日々を過ごすことができた。

所信で不易流行ということを書いた。時代を越えて変わらない教育の根幹と、時代の変化とともに変えていくものに柔軟に対応していく姿勢で教育行政の仕事をしていただいた。

能美市に誇りを持つ一市民として、今後も応援し続けたい。

木村龍雄  
(代表監査委員)



8年間、議員の皆様方にはいろいろとご指導いただき感謝している。

合併してから13年目に入り、地方交付税が年々減少している。その一方で、市税はこれからそんなに多くは期待できない。施策の実施に当たっては、要望のある施策を全て実施することは難しいと思う。めり張りをつけ、収支均衡を考えた市政運営をお願いしたい。



# 「使い道」を厳しく審査

今定例会では、市長から提出された平成29年度の新年度予算に関する議案（10件）と平成28年度補正予算に関する議案（8件）、専決処分の報告に関する議案（1件）について審査が行われました。

議長を除いた全議員で構成する予算決算常任委員会全体会で慎重な審査を行ったほか、委員会を3つの分科会に分け、分科会ごとにも集中的に審査を行いました。

最終日の本会議で予算決算常任委員長から審査内容の報告があり、採決の結果、すべての議案が可決されました。

なお、主な審査内容は次のとおりです。

## ◆平成29年度一般会計予算

### 総合計画策定事業

### 市民満足度調査の実施時期はいつ頃か

4月から準備を行い、北陸先端大と連携して設問内容を吟味し、決まり次第実施する。

### 個人番号カード有効利用事業

### 今年度の利用実績はどうか。宣伝方法は

制度が開始された平成28年1月分から平成29年2月分までの累計は353件。広報等を通じてコンビニ交付の利便性等を伝えていきたい。

### 県営道路事業負担金

### 加賀海浜産業道路事業の市負担分の根拠は

全体延長は3,003メートルでこのうち能美市を通過する区間の延長は818メートルであり、割合にして27.2%。県事業の事業費7,000万円の27.2%にあたる1,900万円のうち10%の190万円が能美市負担分となる。

## 観光情報発信強化事業

### プロモーション事業の主な使途内容は何か

東京で開催されるいしかわ伝統工芸フェアへの出展料やイベント出展にかかる諸経費、大手旅行雑誌への広告料等である。



▲伝統工芸フェアで能美市の魅力を伝える能美市観光大使・ハンディやしきさん

### 空き家対策事業

### 除却する空き家は何件を予定しているのか

来丸町の相続放棄物件1件を予定している。

## 公害関連調査事業

### 排水調査やばい煙調査を行う企業や工場の数は。河川、海水、地下水の調査を何件行うのか

企業や工場の数は、根上地区で13件、辰口地区で15件。河川は21件、海水は4件、地下水は8件の実施を予定している。



▲鍋谷川での水質調査

### 防火・防災フェスティバル費

### 防災センター1周年事業は単年度の予定か

フェスティバルの参加者の意見を聞き、継続の有無や実施の手法などを検討していく。



### 保育園運営費

**防犯カメラの購入は、各保育園に何台設置されるのか。また、その仕様は**

各保育園に1台ずつ設置。主な仕様として、SDカードにより12日間の録画が可能である。

### スマートウオーク

#### アドバイザー養成事業

**これまでの参加人数や指導者養成数は。今後の展開は**

市民から一般公募した45名が『スマートウオークアドバイザー養成講習会』に参加し、うち、25名をスマートウオークアドバイザーとして認定。平成29年度もアドバイザー養成講習会の開催をはじめ、ウォーキングイベント等にアドバイザーを派遣していく。

### 部活動奨励事業

**中学校の運動部や吹奏楽部の部員を送迎する民間バスの借上料はどのように試算したか**

平成29年4月から日曜日が原則、部活動の休養日となる。民間バスの利用が減ることも考えられるが、これまでの実績に基づいて試算した。

### 交通安全対策施設整備事業

**どのような対策をするのか**

児童等の通学時の安全を確保するため、ガードレールやガードパイプなどの転落防止策を講じる。また通学路に路面標示を行い通学時の安全を図る。



◀4月9日に開催されたスマートウオークフェスティバルに約200名の市民が参加。満開の桜の下を元気に歩きました





# 討 論

## —こんな理由で賛成・反対しました—

3月28日の定例会最終日、各議員から活発な討論が行われました。  
討論とは、採決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することを言います。下記にその概要を掲載いたします。

### ●平成29年度一般会計予算

骨格予算としての予算計上でありながら、大型の公共事業は継続事業としてそのまま予算化されている。

市の財政をどの視点で使うかが問われており、能美根上スマートインターチェンジ事業や寺井地区都市再生整備事業など、地域の合意がまだできていない公共事業継続を見直し、暮らし応援予算に切り替えるべきである。

また、学校教育予算に関連して、市単独で「学力向上推進事業費」が計上されている。小学校5年、中学2年生に実施することはまさしく全国学力テスト対策。子どもも教師も競争主義に追い込む事業は中止すべき。特別支援員2名の増員配置は評価するが、教師の多忙を軽減させるための支援員の配置やカウンセラーの常駐化など、教育環境改善によって、生徒と教師の触れ合う時間を確保することが必要なことである。

このほか、個人情報流出の恐れがある社会保障・税番号制度費に関する予算も計上されており、これらの観点から、この予算には反対する。

## 反 対

近藤 啓子  
議員  
(日本共産党)

## 賛 成

東 正幸  
議員  
(能美保守の会)

今回の予算は、原則、新規の政策的事業費を除いた、人件費、扶助費、公債費等の義務的経費や施設の維持管理費等の経常的経費、そして継続事業を中心に計上されている。

また、緊急性が高く年度当初に事業を実施しなければ市民生活に影響を及ぼす事業や、昨年3月に策定された能美創生総合戦略の基本コンセプトである「市民力と地域力を高め「暮らしやすさを日本一、実感できるまち」」を見現化するための予算が計上。移住・定住促進のためのプロモーション等を実施し、県外・市外の方に能美市の良さを知っていただく「移住・定住促進戦略事業」をはじめ、粉ミルクや紙おむつの購入助成などにより「安心して子育てができる環境づくり」を推進する予算等が引き続き計上されている。

「骨格予算」とはいえ、新年度当初から市民が不便を感じないように配慮された予算である。肉付け予算となる6月補正予算では、先送りした事業や、この度の選挙において市長が公約した事業等、メリハリを持った予算編成となることを期待し賛同する。

### 賛否が分かれた議案

○=賛成、●=反対、議長(北野 哲)は採決に加わりません。

議 案 名	北村周士	仙台謙三	山本 悟	田中大佐久	森 善克	近藤 博	田中策次郎	開道 昌信	嵐 昭夫	南山 修一	居村 清二	北野 哲	倉元 正順	米田 敏勝	東 正幸	近藤 啓子	杉田 隆一
能美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	●	○
平成29年度能美市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	●	○
平成29年度能美市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	●	○
平成29年度能美市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	●	○
平成28年度能美市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	●	○
能美市個人情報保護条例及び能美市個人情報保護条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	●	○
能美市税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	●	○
平成29年度能美市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	●	○

このほかの議案などの審議結果は、  
能美市議会のホームページをご覧ください。

能美市議会

検索





# 代表質問

代表質問とは、会派を代表した議員が、市長の施政方針や予算編成方針に対して行う質問のことです。施政方針や予算編成方針などは関心も高く、議員個人の質問内容が重複しやすいため、会派の代表者が一括して質問することで、効率的な質問の機会とすることが目的です。能美市議会では、3月定例会のみ代表質問を行うことができ、今定例会では、能美保守の会を代表して3名の議員が代表質問を行いました。



杉田 隆一 議員

## 新年度予算編成

**Q** 選挙公約を実現するにあたって財源をどう確保するのか。  
**P** レミアム商品券は発行するのか

**A** 大変厳しい財政状況下ではあるが、選挙公約として「まち・ひと・しごと」をテーマに7つの誓いをした。

今後とも積極的な企業誘致を行い、税収増を図るとともに、行財政改革、行政評価を推進し、事業の集中と選択を実施することでめり張りのある予算措置に取り組む。

プレミアム商品券は、さきに実施された事業での経済効果を検証すると、幾つかの検討事項が見られた。これらの課題を再検証した上で、国、県の動向も注視し、財政負担を極力伴わない施策も含め検討していく。



米田 敏勝 議員

## 市長選挙

**Q** 市長選挙で生じた旧3町の地域間の感情的な溝やひずみをどう払拭し、修復させるのか

**A** 合併して12年が経過し、市の各種団体は、地域間での親睦や融和を深めており、溝や壁とい

**Q** 財政の硬直化が危惧される。今後、財政運営をどのように行うべきと考えているのか  
**A** 予算編成にあたっては、懸念すべき課題も幾つか見えてきており、財政の硬直化も危惧している。企業誘致等による税収増加策、また行政評価による事業の集中と選択を執行し、収入とサービスの二律背反の課題に取り組んでいかなければならないと考えている。

うものは感じていない市民が多いのではないかと。今回の選挙で地域間の感情や溝が生じたならば、地域住民の不安や懸念を払拭するため、タウンミーティングを通じて旧3町の特徴を生かしたまちづくりを進めていく。

## 企業誘致と地下水問題

**Q** 企業誘致と地下水の環境保全をどう両立していくのか

**A** 一昨年から地下水水位低下により、地下水が貴重で限られた資源であることを再認識した。これからの企業誘致においては、地下水や自然の恵みがもたらす豊かな地球環境を未来へ引き継いでいくことを重要課題として取り組む。

能美市のよい状況をさらに進化するためにも、多種多様な企業への誘致活動は喫緊の課題であり、トップセールスに努めたい。また、企業が事業活動しやすい環境を整えることも肝要。交通アクセスの強化が重要であると考えている。



東 正幸 議員

## 市長の選挙公約

**Q** 市長が選挙戦を通じて訴えてきた政策はどれも重要なもの

であるが、最も早く取り組むべき課題、または着手すべき課題は何であると考えているか  
**A** 市長に就任以来、執行部から市の政策や懸案事項のヒアリングを行ってきたが、その取り組むべき課題の多さに身の引き締まる思いをした。

これらの課題には、現地現場を訪れ、市民の声を傾けながら取り組む。また、事業実施に伴うメリットとデメリット、費用対効果など種々の検証も必要。

これらを総合的に勘案し、優先すべき課題をしっかりと見きわめながら、地方創生のモデルケースと称されるように取り組んでいきたい。

**一二代表制**  
**Q** 市長に就任し、強大な権限が付与された。その責任の重圧も大変なものや察するが、二代表表制に対する思いや市長としての決意は  
**A** 議会と市長はともに市民を代表しており、独立、対等の関係にある。相互に抑制と均衡のとれた関係を構築しながら自治体運営を進めることが二代表表制の趣旨である。

相互の適切な緊張感を維持した上で、現地現場主義並びに市民ファーストをもとに市民視線を忘れず切磋琢磨しながら、市民のニーズに応える行政サービスを目指していきたい。





田中 策次郎 議員  
能美保守の会

#### 九谷焼振興策

**Q** 県外から来て九谷焼事業者で働く若者にも後継者支援策の拡大や、九谷陶芸村の活性化に若手作家と子育て世代との交流イベントを開催できないか

**A** 若手作家が能美市に戻るような支援を検討していきたい。子育てグループとの連携したイベント開催など、新しい視点での陶芸村の魅力度アップに向けて検討を進めていきたい。

#### 環境施策

**Q** 自然エネルギーの普及、市民子どもへの環境教育、ごみ減量の取り組みについて問う

**A** 市内公共施設の太陽光発電は11施設に設置、費用対効果を考慮し設置を検討していきたい。21世紀を担う子ども達への環境教育は重要と考える。環境教育の推進、充実を図るため、6月の環境月間に合わせ市民向け環境講座を検討している。

#### 農業への理解と支援

**Q** 農業は中山間地の環境保全や治水や地下水保全にも大きく役立っている。農業の理解にどのような支援策を進めていくのか

**A** 多面的機能支払い事業を通じて、農家と非農家が共同活動を行い、地域コミュニティの創造や農業・農村の大切さ、地域農業を維持することの重要性を広く一般に理解を深めていきたい。

#### 男女共同参画

**Q** 市管理職の登用や女性リーダーの育成など男女共同参画の推進をどのように進めるのか

**A** 女性管理職や市の各審議会は目標に近づくよう働きかける。女性リーダーの育成や男女の人権尊重啓発活動に関して講演会・セミナーなどの開催や制度の説明会など各企業と一体となって事業を展開していきたい。



▲子育て世代と九谷焼作家の交流で陶芸村の活性化を

## 一般質問



山本 悟 議員  
能美保守の会

#### 部活動の移動費

**Q** のと里山海道での中学校の野球部の生徒2名が死亡した事故を受け、県内各自治体では部活動移動時の補助に予算の増額を図っている。能美市の対応は

**A** 平成29年度から、公共交通機関や民間業者のバスの貸し切りによる移動を最優先にしている。予算面では、公式大会に参加するために必要な旅費、宿泊費等については一定の基準により市が全額負担としていく。更に平成29年度から教員、保護者の自家用車の使用に限り、万が一の移動中の事故に対して、同乗する生徒を対象とした傷害保険を予算化している。

#### 産業振興会議

**Q** この程制定された能美市中小企業・小規模事業者振興基本条例を完全実施するには能美市産業振興会議の設置が必要不可欠である。現在の進捗状況を問う

**A** これは平成28年7月に国から認定を受けた、経営発達支援計画を踏まえて策定をした独自の条例である。中小企業・小規模事業者を支援するため、産学官金の連携を深めることを目的に、現在能美市産業振興会議の設置に向けた準備を進めているところである。

定数10人以内となっている委員については、市内企業、小規模事業者、経済団体、金融機関及び学識経験者の中から7名ないし8名を委嘱したいと考えている。議題によっては、委員以外の専門的な知識を有する方を招聘し、検証も行っていくながら、課題の解決につながる活発な議論の場となることを期待している。



▲部活動に励む中学生。遠征などで移動する際の安全確保を





田中 大佐久 議員  
能美保守の会

#### 教員の負担軽減

**Q** 教員補助員を配置し、教員の負担軽減を図れ

**A** 児童生徒との心の交流を大切にすするため、昼休みや放課後に子どもと元氣よく活動する時間が先生には必要。その時間を確保するため、補助員の業務内容や配置及び時間数等を検討したい。

**Q** 退職教員の活用状況はどうか。主な業務内容とその成果は

**A** 新たに採用する退職教員は学校教育統括アドバイザーとして任用する。

その豊かな経験、ベテランとしての専門的な知識や技能を活かし、学校が抱える諸問題への解決の方策を検討し、これを実行出来るものと考えている。

**Q** 教員の意識改革がなければ負担軽減にならないと考えるが

**A** 前例踏襲から脱却する等学校や教員の意識改革も大変重要

であり、学校と教育委員会で対策を図りたい。また、教員の意識改革に加え、学校の役割を明確にし、その方策を検討していきたい。

#### 人口減少対策

**Q** 定住促進制度の要件緩和を図れ

**A** 定住促進助成交付金制度の拡充は、最重要政策の一つとして推し進め、制度の見直しも考えている。主なものとして、三世代、親世代との同居や近居の推進をはじめ、市外や県外からの移住者を増加させるための制度拡充、また、若い世代の方が住宅を取得した際に、心ばかりの経済支援ができないか検討する余地もある。

厳しい財政状況も十分に配慮する必要があるが、これを力点に置いたためり張りのある制度となるよう制度設計をしていく。



▲教職員の負担軽減を

## 一般質問



開道 昌信 議員  
真政会

#### 北陸先端大のスポーツ施設

**Q** 北陸先端大のスポーツ施設建設の計画概要、進捗状況は

**A** 北陸先端大の開学当初からの懸案事項であった屋内運動場建設が、ようやく実現にこぎついている。施設機能の詳細については北陸先端大が事業主体となり進めているが、平成29年度の単年度で整備されるようた。

**Q** 大学の付属施設だが、行政、地域住民がどう関わっていくのか

**A** 市としては建設用地を無償で貸与する。また給排水やアクセス道路などのインフラ面を整備する。今回のポイントとして高台に位置している強みを生かした河川災害時等の緊急避難所として地域住民の安全確保に寄与するものと期待している。今後も北陸先端大とは学官連携協定に基づき、より相互交流が活発になるよう協議を続けていきたい。

#### スポーツで国際交流

**Q** 北陸先端大で進んでいる屋内運動場だが、国際交流の拠点となるよう、利用方法に創意工夫を凝らしてはどうか

**A** この施設が完成後市民に開放されることになれば、新たにスポーツを通して留学生と地域住民が交流し、コミュニケーションを深める場所となる。その際は多くの人に国際交流を身近に感じ、体験できるメニューを検討していく必要がある。

**Q** 国際交流推進の為、スポーツ指導員に多言語を習得するプログラムを創設してはどうか

**A** スポーツを通じた国際交流を推進していくには、それに対応できる人材確保が重要になる。多言語を使いこなす人員育成はハードルが高いが、言語習得プログラムが創設可能か検討したい。



▲小学生にスポーツの楽しさを伝えるスポーツ推進員





嵐 昭夫 議員  
市 民

サイエンスパーク造成地

**Q** 宅地・研究所・企業用地等の整備計画を問う

**A** 石川県とこれまで以上に連携し、立地環境の優位性のPR活動を展開し、更なる企業誘致に取り組む。整備は、県が進出企業の要望に応じてオーダーメイド方式で分譲区画整備等を進める。

**Q** 緑地や進入道路・公園等の市管理地を明確にせよ

**A** 今年の2月末日で「いしかわサイエンスパーク土地区画整理事業」の換地処分が完了。所有権移転登記は5月頃となるが、3月から公共施設である緑地や公園、道路等が能美市に帰属された。

**Q** 集落周辺緑地の鳥獣被害予防と緩衝帯整備費の予算化を

**A** 緩衝帯の設置は、国の補助対象とならないため、予算化は厳しい。イノシシ侵入被害防止柵周辺の下草刈りは抑止効果があり、継続して実施する予算を計上した。



▲研究開発施設が集積するいしかわサイエンスパーク

幼児教育の無償化

**Q** 保育料基準額の負担軽減拡充や、放課後児童クラブ第2子以降と病児・病後児保育の保育料無料化を図れ

**A** 子どもは宝であるとの観点に立ち、経済的な理由等で子どもを持っていないことがないよう子宝支援制度等の支援を継続する。また、子育て世帯に対しては、保育園や放課後児童クラブの保育料無料化等、更なる充実に努める。

保育園の保育料負担軽減は、市民税非課税世帯の第2子無料化とひとり親世帯の年収360万円未満世帯で第1子からの保育料軽減を検討している。放課後児童クラブ第2子の保育料軽減も検討しており、病児・病後児保育の保育料の無料化は、今後検討していく。

一般質問



北村 周士 議員

新・旧博物館計画

**Q** 新博物館の建設構想と能美市立博物館の解体計画は

**A** 新博物館では「白山曼荼羅図」の展示が可能な展示設備を設け、能美古墳群等の歴史を総合的に学び、市全体を「野外博物館」と捉えたエントランス的な位置づけとしたい。

現在の博物館解体は、今年の11月に解体工事を発注する予定。周辺施設と連携を取りながら、安全確保を行いたい。市民ギャラリー、スペースは、今後必要であり、辰口福祉会館や辰口図書館で代替となる機能を検討したい。

辰口中央児童館構想

**Q** 現在想定している定員数は妥当であるか

**A** 80名（最大120名）の定員数とは、放課後児童クラブの登録者定員数である。現在、放課後児童クラブの登録状況は、市内平均で26.7%であるが、最も高

くても約40%。それを考慮すれば、今後児童が増加しても、周辺施設と合わせて十分に対応可能である。博物館跡地や「のみでん広場」などの整備とあわせ、能美市民の憩いの場となるよう最大限の工夫をしたい。

九谷焼振興策

**Q** 若手作家への支援、職人の育成施策、資料館収蔵品の充実を図れ

**A** 九谷焼後継者の育成には様々な方面からの支援が必要である。ふるさと納税返礼品の活用や、新規市場開拓の後押しに努めたい。空き家や空き店舗を用いた支援の拡大も検討していきたい。

九谷焼資料館の収蔵品の充実にについては、ふるさと振興公社と十分に協議していきたい。



▲石川県指定文化財の絹本着色白山曼荼羅図





南山 修一 議員  
勉 誠

### 新市長の施策展開

**Q** 市民の一体性はどのように図るのか

**A** タウンミーティングなどを通して市民の素直な声やさまざまな意見を直接聞きながら、さらなる市の一体性のために努力する。

**Q** 市長戦略室の分掌事務や機能はどのようなものか

**A** 企画振興部を新設し、その中に市長戦略室を設置する。

選挙公約である現地現場主義、市民ファーストを具現化するため、タウンミーティングやトップセーブルスによる情報発信と地域の魅力の掘り起しを行う。広報広聴部門も含めることで地域の声をしっかりと把握し、スピーディな課題解決と必要な施策実現につなげる。

**Q** 組合解散で川北町との距離感が出た。どう連携していくか

**A** 広域事務組合の一つは解散するが、近隣の市町としてこれまで同様の連携を図っていききたい。

### 高齢者等の福祉

**Q** 行方不明者の最近の状況を問う

**A** 防災行政無線放送で情報提供を呼びかけたケースは、平成25年度が2件、平成26年度が3件、平成27年度が4件。平成28年度は現時点で2件であり、今後増加するものと思われる。

**Q** 高齢者等の見守り連絡網の構築を図れ

**A** 能美市認知症高齢者見守りSOSネットワーク事業を1月から開始した。徘徊の恐れのある方の事前登録を呼びかけている。

今後は、コンビニ、飲食店、薬局、スーパー等へ参加を呼びかけたい。徘徊はノードではなく、地域が廊下として安心して徘徊できるまちを地域全体で目指したい。そのため認知症を隠さず、恥じず、見守り支え合える地域社会の意識向上を図ることが重要と考えている。



▲見守りSOSネットワークへの登録が行方不明者等の早期発見につながります

## 一般質問



仙台 謙三 議員  
公明党

### 障がい者施策

**Q** 能美市の障がい者福祉施策は今後どのように展開されるのか。さらなる充実が必要と考えるが、既に充足していると理解しているか、市長の見解を問う

**A** 現在、「第3期障がい者計画」を策定しており、ニーズの把握や各種施策の方向性を検討する中で、ライフステージや障がいの特性に応じたきめ細やかな施策の必要性が見えてきた。

今後は、人づくり・地域づくり・支援づくりをさらに推進し、障がい者施策のさらなる充実に努めていきたい。

### JR能美根上駅

**Q** 旧駅舎そばにあった郵便ポストが新駅舎になり撤去されている。駅の利便性の向上のため、新駅舎または周辺に早期のポストの設置を求めるが、市の見解は

**A** 平成24年に旧駅舎取り壊しに際し、新駅舎完成までとして



▲障がい者週間記念事業の一環で行われた「はくらの街フェスin能美」。DVD上映などで障がい者への理解を深めました

日本郵政によって撤去された。その後、日本郵政から設置しないとの連絡があった。

今後の日本郵政への設置要請については、駅利用者や周辺住民の皆さんの要望が第一であり、十分にお聞きした上で、検討したい。

### 高齢者運転免許証

**Q** 高齢者の運転免許証自主返納制度について、能美市でも、他市のような特典の種類を拡充したり、対象年齢を現在の70歳から65歳へ引き下げてはどうか

**A** 能美市内でも65歳以上69歳以下の免許返納者は毎年数名おり、今後は対象者を65歳に引き下げること前向きに検討する。

他市のような特典の種類の拡充は、今のところ考えていない。

制度利用者が「のみバスフリーパス券」をどの程度利用しているか把握していないので、現状把握のための調査を平成29年度に実施し、結果によって特典の種類の拡充などを検討しなければならぬ。



居村 清二 議員  
能美保守の会

宮竹小校下の人口目標対策

**Q** 北陸先端大周辺の一部を快速居住ゾーンとして開発し、宮竹小校下の人口減少対策をせよ

**A** いしかわサイエンスパークの造成地活用は、人口減少社会を背景として県当局も難しい判断をしなければならぬと推測。県当局とこれまで以上に連携を図り、土地の有効利用に努めていきたい。将来人口目標の実現と振興に向け、三世代、親世代同居や近居を推進していく。岩内工業団地やゴルフ場、里山の豊かな自然がすぐそばにあるという強みを県外、市外へも発信しながら、移住・定住施策を展開していきたい。

**Q** 移住・定住の促進には、土地の確保が重要。宮竹小校下周辺の宅地造成を総合計画や都市計画マスタープランに盛り込め

**A** 住宅地の計画は、農業振興地域とのバランスも考慮しなければならぬ。地域の要望や意見を聞き、適正な計画を立てていく。



▲周辺施設の特徴を生かし、一体性のある整備を

辰口中央児童館構想

**Q** 辰口中央児童館の建設と周辺整備は一体性を持って取り組むべき。それぞれの施設の今後の方針は

**A** 新しい辰口中央児童館や図書館の駐車場の配置、車や人の進入動線、「のみでん広場」の有効活用など、能美市民の憩いの場として、また公共ゾーンとして総合的な整備が必要ではないかと考えており、隣接地の取得も前向きに進めたい。また、博物館にある遊び道具などが使えないか、さらに能美電車の配置も検討し、児童館や図書館、保育園、公園の配置など各施設の持ち味を十分生かしながら、市民が集い、遊び、くつろげる公共ゾーンとなるよう検討していく。

## 一般質問



近藤 博 議員  
能美保守の会

プロモーション活動

**Q** イオンモールで総合力催事を行い、信頼関係を築け。その後、戦略地域や他のSSCを紹介してもらい、商品開発やブランディング化をせよ

**A** 地域ブランド魅力度ランキング向上を掲げ、さまざまなプロモーション活動を展開している。30〜40代の子どもを持つ主婦をターゲットとしているイオンモールでの催事は、子育てに優しい能美市としては的を射た取り組みである。全国へ向けてのシティプロモーションの展開が見えてくる。

子育て支援

**Q** 国・県では子育て支援施策に重点を置いている。また、保育士確保のために、学生を対象とした奨学金制度を創設した自治体もある。能美市の対応はどうか

**A** 県の施策は各市町との連携にて行うものであり、その趣旨に賛同し実施している。放課後児童クラブの保育料は県内でも低料金であり、保育園の保育料も独自で軽減している。

保育士の確保や採用は、現時点ではできている状況にある。平成29年度は「のみつ子体力向上プログラム」の計画を予定。子育て支援施策は他市と比べても遜色ない支援体制を構築している。

母親・幼児教育

**Q** 今後は幼児教育とAー（人工知能）が課題。子どもと接する時間の長い母親の子育て教育、保育園での特色ある教育に取り組み

**A** 子育て支援センターを通じて先輩ママや同世代ママとの話し合いができる環境づくりが重要。子育ての楽しさを知ることによって責任感が芽生えるような行事や講座を活用し、親への教育や成長につなげたい。また、小児科医による父母への講座も開催している。保育所では、五感を使った遊びを全身で行うことで感性を豊かにし、情操教育も地域のボランティアクループの活動等を通じて行っている。



▲家庭、地域、保育所が一体となった特徴ある子育て施策の展開を





森 善克 議員  
能美保守の会

### 学校教育

**Q** 不登校児童生徒数は年間約60人でここ最近減少していない。これまで実施してきた対策の検証を行い、新たな対策を検討せよ

**A** 平成29年度は、新たに仮称能美市不登校等対策会議を設置する。教育委員会や健康福祉部、関係機関が連携し、不登校等児童生徒が抱える問題を協議し対策を講じていく。その中で保護者対象講演会、教職員研修、啓発リーフレットの発行等積極的で有効な施策を検討していく。また教育委員会とともに事業の検証も行っていく。

**Q** 事務補助員配置の前に、教師の事務作業が全て児童生徒の教育に必要なことかどうか見直せ

**A** 学力調査結果の分析などに関しては、児童生徒の個々の状況、学級集団、学校全体の取り組みを検証することは重要であると考えている。学校では、管理職、教務主任、研究主任などを中心に

検証を行い、学校の全教職員に取り組みを提起するなど組織的に取り組んでいる。

### 市道根上国道線の安全対策

**Q** 今後の交通量増大にともなう交通事故防止のために、中央分離帯の設置を検討せよ

**A** 根上国道線は沿線に工業団地群が立地し、インターが完成すれば今後さらに交通量の増加が見込まれる。中央分離帯の設置は安全で円滑な交通が確保できるが、交差点以外で右折できないことにより対向車線側への移動が制限されるというデメリットもある。現道の幅員の中で対応を検討したい。

**Q** 交差点では右折専用車線があるため直進車線が1車線に減少し危険である。直進2車線右折1車線の常時確保はできないか

**A** 今後の交通量の増加を考えると、交差点での車線減少の解消は必要と考えている。安全で円滑な交通の確保を図るため、車線構造の変更について検討したい。



▲交通量が増えてきている市道根上国道線

## 一般質問



近藤 啓子 議員  
日本共産党

### 水道料金の引き上げ

**Q** 1㎡当たり21円の値上げ計画を出しているが、市民の納得は得られていない。市民生活にどれくらいの影響が出るか試算しているのか

**A** 老朽化した水道管路の更新や県水受水のための財源確保が必要であり、やむなく料金を値上げすることとなった。

水道料金値上げにより、各施設等の利用料金の見直し対応がまだ明確でなく、市民生活への影響等の試算ができない状況。値上げを実施していく中でどのような影響が出てくるのかを注視していく。

**Q** 国や県に対して水道施設の老朽管更新や耐震化などに要する工事費の財政支援を求め、負担軽減を図るべき

**A** 合併直後から毎年、石川県市長会や石川県市議会議長会を通じて国に要望書を提出している。今後も、引き続き支援を要望していく。

### 中学校の部活動

**Q** 文科省は、部活動の休養日を適切に設定するよう通知を出した。能美市の実態はどうか。また、教員の長時間の時間外勤務は部活動の影響か。実態はどうか

**A** 能美市内3中学校は週1回の部活動休養日を設定している。また、昨年の11月と12月の教職員の土曜日、日曜日の部活動指導のための出勤日数を調査。両月とも8回の休日のうち、平均すると約3日間の出勤という状況だった。時間外勤務の実態は、昨年12月からの3か月間の調査によると最大で月80時間の教員がいた。

**Q** 生徒も教員も休養日がとれるよう改善すべき

**A** 南加賀3市1町が連携し、平成29年度から原則、日曜日を部活動休養日の方向で協議。

文科省は「部活動のあり方に関する総合的なガイドライン」を策定する。それを参考に能美市教育委員会としても、部活動に関するガイドラインの策定を検討する。





## 市連合壮年団 × 市議会

「子育て」「企業」「福祉」「住環境」を  
テーマに意見交換

2月26日(日)、能美市連合壮年団が主催する「市政懇談会」に市議会議員が出向き、ワークショップ形式で意見交換を行いました。





市連合壮年団員  
46名が参加。  
日々の暮らしに  
対する思いや提  
案を議員にぶつ  
けました。



お茶やコーヒーを  
飲みながら、和や  
かな雰囲気で行わ  
れました。



議員も壮年団員の声に  
真剣に耳を傾けました。  
出された意見や提案は、  
一般質問等を通じて市  
政に届けていきます。

真剣な表情で議員の話しを聞  
く市連合壮年団の藤本団長  
（写真中央）。  
終了後には「初めての試みで  
不安もあったが内容の濃い意  
見交換ができた」と感想を述  
べました。

こんな意見が  
出されました

#### 子ども医療費の窓口無料化

子ども医療費の無料化は素晴らしいが、安易に利用されている面もあるのではないかと。制度継続のためにも、安易な利用を控えることを周知してはどうか。

#### 通学路

企業誘致等で車の交通量が増えたのではないかと。通学路の安全確保に努めてほしい。

#### 公共交通

辰口地区は通学が不便。小松市とコミュニティバスの連携がとれないか。

#### 企業誘致

工業・商業・農業をバランスよくやりながら企業誘致を進めてほしい。誘致企業と地元企業との連携や取り引きも必要。企業誘致で地元企業も潤うように。

#### 高齢者福祉

高齢になれば運転免許証の返納は仕方ないが、その対策が必要。買い物支援の補助や電動車購入の補助制度があればよい。

#### 移住者の増加

移住者にアンケートを行い、能美市の良いところを見つけ、もっとアピールをしてはどうか。

# こんな活動しています

総務…総務常任委員会

産経…産業経済常任委員会

教福…教育福祉常任委員会

議運…議会運営委員会

全協…議会全員協議会

広報…広報特別委員会

基地…基地対策特別委員会

いじめ…いじめ・虐待等社会問題対策特別委員会

活性化…議会の活性化に関する検討会

## 1月

- 6日 広報(議会だより52号の編集)  
活性化(政務活動費)
- 12日 広報(議会だより52号の再編集)  
いじめ(調査研究)  
視察受入(小諸市:子育て支援)
- 13日 教福(各課報告)
- 17日 総務(各課報告)  
議運(第1回臨時会会期日程)  
活性化(政務活動費)
- 18日 視察受入(小野市:子育て支援)
- 19日 産経(各課報告)

## 2月

- 8日 議運(議事日程)  
全協(〃)  
本会議(常任委員選任他)
- 13日 教福(各課報告)  
活性化(政務活動費)
- 14日 広報(議会報告会)
- 17日 いじめ(調査研究)
- 21日 総務(各課報告)
- 28日 産経(〃)  
議運(第1回定例会会期日程)  
全協(〃)

## 3月

- 6日 議運(議事日程)  
全協(〃)  
本会議(開会、議案上程、提案理由説明)  
総務(付託案件の審査)
- 9日 議運(一般質問発言順)  
活性化(議員定数、報酬)
- 15日 議運(議事日程)  
全協(〃)  
本会議(代表質問・一般質問)
- 16日 本会議(一般質問、質疑、委員会付託)  
総務(付託案件の審査)
- 17日 予算決算常任委員会全体会  
活性化(議員定数、報酬)
- 21日 教福、予算決算教福分科会(付託案件の審査)
- 22日 産経、予算決算産経分科会(付託案件の審査)
- 23日 総務、予算決算総務分科会(付託案件の審査)
- 24日 いじめ(調査研究)
- 27日 予算決算常任委員会全体会  
議運(第2回定例会会期日程他)  
活性化(議員定数、報酬)
- 28日 議運(議事日程)  
全協(〃)  
本会議(委員長報告、質疑、討論、採決、閉会)  
広報(議会だより53号のレイアウト案)

本会議の録画映像を  
HPで配信しています

能美市議会映像配信

検索

平成29年

## 6月定例会のお知らせ (会期:6月5日~6月23日)

皆さまお気軽に傍聴に  
お越しください

- 6月5日(月) 提案理由説明
- 6月14日(水) 一般質問
- 6月15日(木) 一般質問
- 6月23日(金) 委員長報告、  
討論、採決

## ご意見・ご感想

『のみだより』へのご意見・ご感想や能美市議会へのご意見などございましたら、下記の宛先までお寄せください。

〒923-1297 能美市来丸町 1110 番地

能美市議会事務局

T E L : (0761)58-2240

F A X : (0761)58-2295

E-mail : gikai@city.nomi.lg.jp

## 編集後記

井出新市長招集の平成29年第1回定例会が行われました。新市長への期待の表れでしょうか、代表質問・一般質問に15人の議員が登壇、市長所信・市政一般について質しました。

ところで今回審議された3月当初予算は、先の2月に執行された市長任期満了に伴う選挙の関係で、義務的経費を中心に編成された骨格予算となっていま

す。新市長の想いがこもる政策的経費は裁定を経て、この後6月に補正予算が組まれることとなります。大いに楽しみなところですよ。

人口減少社会を迎え、将来を見据えた喫緊の課題が山積みです。市政に滞りがあってはなりません。議会も行政共々しっかりとこれに対処すべく、気を引き締めて新年度のスタートを切ります。

(開道昌信)

広報特別委員会 委員長：嵐 昭夫 副委員長：田中大佐久 委員：開道 昌信、近藤 博、山本 悟、仙台 謙三、北村 周士